

日本小児科学会医療安全委員会主催

第10回 Sedation Essence in Children Under Restricted Environment (SECURE) コースの報告

開催日：2019年7月20日（土）13：30～17：00

開催場所：大阪医科大学附属病院

〒569-8686 大阪府高槻市大学町2番7号

参加費：11,000円（1施設あたり）

参加者数：42名（12施設）

目的：「MRI検査時の鎮静に関する共同提言」を理解し、安全な環境整備に関わる人材の育成

参加者：医師12名、看護師18名、放射線技師12名

参加施設：奈良県総合医療センター、和泉市立総合医療センター、日本赤十字社和歌山医療センター

岸和田徳洲会病院、加古川中央市民病院、京都第二赤十字病院、大阪母子医療センター、近畿大学病院

滋賀県立小児保健医療センター、姫路赤十字病院、神戸市立医療センター西市民病院、大津赤十字病院

プログラム内容：

第1部（30分）：座学（共同提言の解説とオリエンテーション）

第2部（50分）：シミュレーション実習（実践型訓練と振り返り、他施設との比較検討）

第3部（70分）：アクションプランを立てよう（各施設の問題点と課題解決に関する協議）

第4部（45分）：発表・質疑応答（アクションプランの発表、全体で意見交換）

コースの実際：第1部は座学形式で共同提言の要点を伝えた。第2部は4グループに分かれて、シミュレーション/ディスカッション形式で行った。同一施設の医師、看護師、放射線技師が3人1組でシナリオシミュレーションを行い、振り返りの場で、自施設の課題や解決策を多職種/多施設で協議する場を提供した。第3部は、自施設の改善したい課題を1～2つ挙げて具体的な解決策の立案を目指すワークショップ形式で行った。ファシリテーターは実現性が高くなるように助言や討論の場を提供した。第4部は、各施設のアクションプランを中心に発表し、参加者全員で討議を行った。

アンケート結果：「コース全体の満足度は？」5.17（6点満点）、「安全な環境整備に対する意欲が向上したか？」5.38（同）、「多職種での参加は良かったか？」5.55（同）であった。参加者の声として、多職種/多施設で行う意見交換の場が非常に好評で、様々な気づきがあったと多数回答があった。また「できることから取り組みばいいんだ、ということがわかって良かった、帰ったら前向きに取り組んでいきます！」と3人が笑顔で帰宅するチームが印象的だった。コース3か月後に事後アンケートを行い、アクションプランの進捗評価を実施する予定である。

コース運営と今後の取り組み：年間3～4回の開催を予定している。①第11回 SECURE コースは2019年11月2日に北海道大学で開催予定（関連施設の医療安全委員会宛に通知予定）②2019年中を目標に「MRI検査時の鎮静に関する共同提言」の改訂作業を開始している。③SECURE コースの様子やアクションプランの実例を、学会ホームページ内の医療安全委員会のコーナーから閲覧可能となっている。

http://www.jpeds.or.jp/modules/guidelines/index.php?content_id=98